

博物館の連携組織と支援団体 その日英比較

宇仁義和（東京農業大学オホーツクキャンパス）



博物館ネットワークの行動力

陸前高田市立博物館の事例

- ・ 学芸員のつながりは日本生態学会
- ・ その所属館は岩手県博、大阪自然史、兵庫ひと博
- ・ 先導は西日本自然史系博物館ネットワーク
- ・ 求心力は収蔵資料・標本の価値

→

ネットワークに参加可能な条件下の学芸員は存在し、
その能力も活かされた

西日本自然史系博物館ネットワーク

環瀬戸内地域（中国・四国地方）自然史系博物館ネットワーク推進協議会はNPO法人化し、西日本自然史系博物館ネットワークと改称いたしました。

西日本は市民的なのかも

[↑TOPページ](#) / [→お知らせ](#)

東日本大震災に関わる自然史系標本の救済支援活動について

東日本大震災により被災されたすべての方々にお見舞い申し上げます。さて、西日本自然史系博物館ネットワークは、昆虫担当学芸員協議会や全国の賛同博物館・職員有志らと共に、陸前高田市立博物館の標本救済に協力しています。

この取組は岩手県教育委員会と県内博物館・文化財関係者が陸前高田市職員やボランティアとともにやっている陸前高田市立博物館の標本救済の後方支援を行うものです。陸前高田市立博物館は同市を襲った巨大津波によって被災し、学芸員ら職員にも犠牲者が出ています。展示室はおろか、収蔵庫も津波により塩と泥をかぶっている状況です。そのような中、岩手県及び同博物館関係者のご努力により、多くの昆虫標本や植物標本が発見され、救済されつつあります。しかしながら、本来乾燥状態で維持すべき標本は泥をかぶったためにカビや一部には腐敗の被害を呈しています。

今回の私たちの取り組みは、これら被災標本に関し、岩手県内の施設だけでは追いつかない洗浄や再乾燥などの修復作業を遠隔地にて支援、協力するものです。協力可能な各博物館で被災標本を受け入れ、学芸員および知識を持つボランティアが処置をし、岩手へと返還するというものです。ネットワークとしてはこれらの各館の取り組みを仲介し、必要な議論や連絡、可能な範囲での資材調達、今後の取組に向けた検討を行ってまいります。

[お知らせ](#)

[入会方法](#)

[活動内容](#)

[活動報告](#)

[環瀬戸内いきものマップ](#)

[西日本自然史系博物館
ネットワークについて](#)

[那須自然史基金](#)

サイト内検索

検索



博物館と生態学

企画集会 (in 57回東京大会2010) の詳細

これまでの企画集会・自由集会

連載「博物館と生態学」

掲示板

To-Dos

Files

サイトマップ

企画集会です
から

83

日経過

連載「博物館と生態学」

『日本生態学会誌』上で連載しています！

結節点は生態学会

目次

1 連載

- 1.1 博物館と生態学(13) 「「視覚化」と「わかりやすさ」の裏表」
- 1.2 博物館と生態学(12) 「生態学をテーマとした新しい展示室—小学生でもわかるベーツ擬態、島の生物地理学、メタ個体群を目指して」
- 1.3 博物館と生態学(11) 「博物館の行う地域に根ざした調査研究活動とエコツアー」
- 1.4 博物館と生態学(10) 「地域の自然を学び、伝える：大台ヶ原自然再生事業と博物館」
- 1.5 博物館と生態学(9) 「大学生が育てたミュージアム：北里大生と地域博物館の連携」
- 1.6 博物館と生態学(8) 「地域博物館での生態学研究」
- 1.7 博物館と生態学(7) 「博物館における長期モニタリング活動：たくさんの眼による地域モニタリング」
- 1.8 博物館と生態学：まとめ 「連載『博物館と生態学』を振り返って」
- 1.9 博物館と生態学(6) 「博物館学芸員と地域住民による自然環境保全活動」
- 1.10 博物館と生態学(5) 「地域の自然が博物館：フィールドミュージアムの活動」
- 1.11 博物館と生態学(4) 「博物館が所蔵する生物標本の生態学的利用事例」
- 1.12 博物館と生態学(3) 「生態学分野における博物館ボランティア研究者の参加が開く可能性」
- 1.13 博物館と生態学(2) 「学校と博物館の連携で展開される生態学教育」
- 1.14 博物館と生態学(1) 「生態系の仕組みを展示する」

2 特集（連載開始前の特集記事）「博物館の生態学—市民と生態学者をいかにつなげるか—」

- 2.1 博物館の生態学
- 2.2 里山地域における住民参加型博物館の生態学分野における役割と課題：等身大の科学を目指した博物館活動
- 2.3 博物館における市民を巻き込んだ調査研究：大阪市立自然史博物館の事例
- 2.4 自然史系博物館の生態学分野における潜在的可能性：総合討論をふまえた現状分析と連携の提言
- 2.5 地域博物館の役割変化と生態学
- 2.6 「博物館の生態学」が目指すもの：特集「博物館の生態学」を振り返って

しかし、地方では・・・

地方の現状：

北海道博物館協会学芸職員部会アンケート(2010)から

学芸職員部会に新しく求めるものは何か？

- ・ 自由な意見交換の場
- ・ 専門技術の研修
- ・ 教員や社会教育主事との懇談会
- ・ 一般市民やマスコミとの窓口
- ・ 若手への技術伝達
- ・ 学芸員どうしの連携や協力を深める

相変わらず「対話と連携」に飢えている

日本の状況／問題意識

ネットワークは生まれており実際に機能している

その一方で

「対話と連携」から疎外された博物館や学芸員も存在する

なぜか？ネットワークは

職員自身による労務と技術の提供

それができない環境にあると疎外される

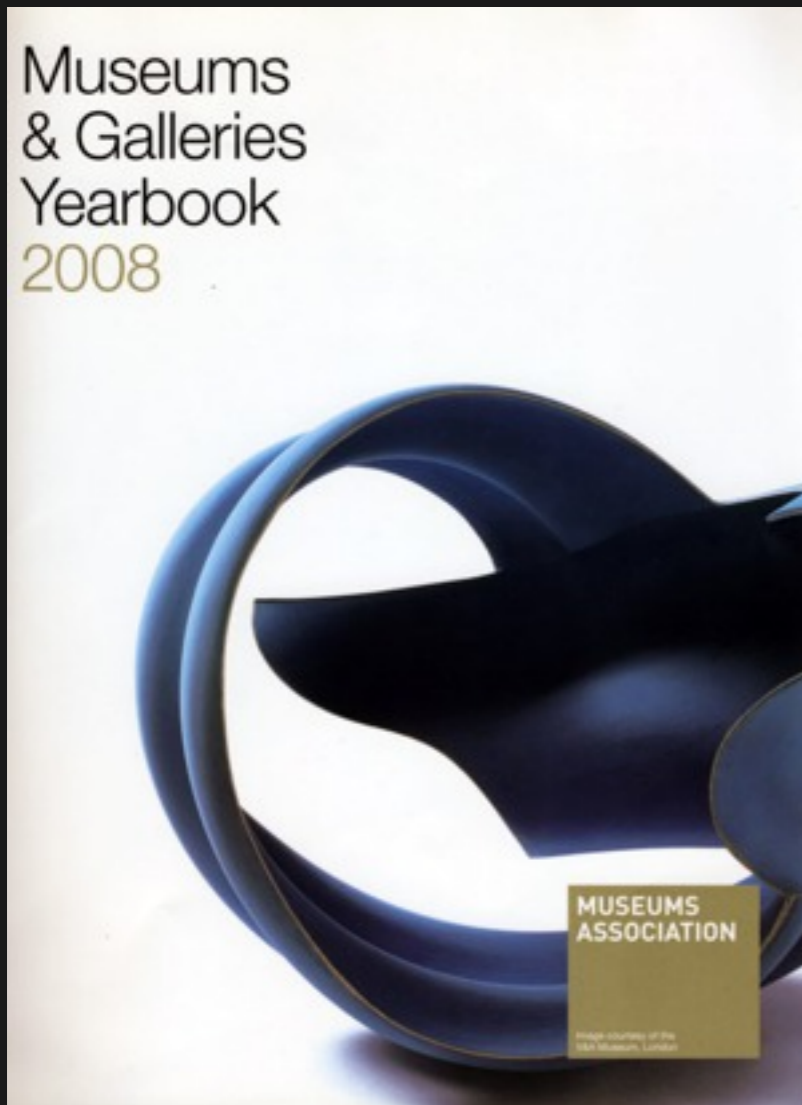
ならば

館や職員の支援を専門にする仕事や仕組みがあると良い

イギリスの状況を日本と比較しよう

材料と方法

イギリス：Museums & Galleries Yearbook 2008 掲載の
“ Related Organisations” 208団体より地方博物館や自然
史博物館に関係したものを任意に抽出



Related Organisations

AN: The Artists Information Company

First Floor, 7-15 Pink Lane,
Newcastle-upon-Tyne NE1 5DW
T: 0191 241 8000
F: 0191 241 8001
E: info@a-n.co.uk
www.a-n.co.uk

Description: Through advocacy and information and from the perspective of artists, we support and stimulate visual arts practice through publication of a-n magazine, www.a-n.co.uk, the code of practice for the visual arts and a programme of artists professional and cultural development activities and research.

Ancient Monuments Society

St Ann's Vestry Hall, 2 Church
Entry, London EC4V 5HB
T: 020 7236 3934
F: 020 7329 3677

E: office@ancientmonumentsociety.org.uk
www.ancientmonumentsociety.org.uk
Staff: Secretary Matthew Saunders;
Assistant Secretary Caroline Carr
Description: The Society is active in the study and conservation of historic buildings of all ages and all types. Also see Friends of Friendless Churches, with which it shares a joint membership scheme (see www.friendsoffriendlesschurches.org.uk).

Army Museums Ogilby Trust (AMOT)

58 The Close, Salisbury,
Wiltshire SP1 2EX
T: 01722 332188
F: 01722 332188
E: dir@amot.demon.co.uk
www.armymuseums.org.uk

Staff: Director Colin Sibun
Description: A private charitable trust that supports and promotes the interests of regimental and corps museums of the British Army through the provision of free professional, legal and corporate structural advice and grants-in-aid for acquisitions and training. The Trust represents the interests of museum trustees to government departments and the museum profession in the development of museum policy, seeking thereby the best possible future for regimental museums.

Arts & Business

Nutmeg House, 60 Gainsford
Street, Butler's Wharf,
London SE1 2NY
T: 020 7378 8143
F: 020 7407 7527
E: head.office@AandB.org.uk
www.AandB.org.uk

Staff: Chief Executive Colin Tweedy;
Director of Marketing and Communications

Arts Council England, East

Eden House, 48-49 Bateman
Street, Cambridge CB2 1LR
T: 0845 300 6200
F: 0870 242 1271
E: enquiries@artscouncil.org.uk
www.artscouncil.org.uk

Staff: Executive Director Andrea Stark;
Director, External Relations Peter Thornton;
Director, Arts & Development Helen Lax;
Head of Communications Aileen Muir
Description: Arts Council England is the national development agency for the arts. Between 2006-2008 it will invest £1.1 billion of public funds in the arts in England, including funding from the National Lottery. One of nine regional offices, Arts Council England, East, covers Bedfordshire, Cambridgeshire, Essex, Hertfordshire, Norfolk and Suffolk.

Arts Council England, East Midlands

St Nicholas Court, 25-27 Castle
Gate, Nottingham NG1 7AR
T: 0845 300 6200
F: 0115 950 2467
E: enquiries@artscouncil.org.uk
www.artscouncil.org.uk

Staff: Executive Director Laura Dyer
Description: Arts Council England is the national development agency for the arts, providing grants for the arts, including

F: 0191 230 1020
E: enquiries@artscouncil.org.uk
www.artscouncil.org.uk

Staff: Executive Director Mark Robinson;
Head of Visual Arts James Bustard; Head
External Relations Patricia Stead; Head of
Arts and Development Alison Clark-Jenkin
Description: Arts Council England, North
East is the regional office of Arts Council
England and is the region's funding and
development agency for the arts. It covers
the geographic areas of County Durham,
Northumberland, Tees Valley and Tyne &
Wear.

Arts Council England, North West

Manchester House, 22 Bridge
Street, Manchester M3 3AB
T: 0845 300 6200
F: 0161 834 6969
E: enquiries@artscouncil.org.uk
www.artscouncil.org.uk

Staff: Regional Executive Director Michael
Eakin
Description: Arts Council England, North
West is the region's funding and
development agency for the arts.

Arts Council England, South East

Sovereign House, Church Street

日本：文部科学省「博物館に関する基礎資料」に掲載の
全国組織、その他の団体を任意に選択

博物館問題研究会、美術館教育研究会、博物館学史研究会

美術館メディア研究会、全国科学博物館協議会

美術館連絡協議会、全国大学博物館学講座協議会

日本展示学会、全国美術館会議、日本プラネタリウム協議会

日本植物園協会、日本動物園水族館協会

全国科学館連携協議会

大学博物館等協議会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

地方史研究協議会、西日本自然史系博物館ネットワーク

全国森林リクリエーション協会、全国林業改良普及協会

日本美術家連盟、文化財保存修復学会

小規模ミュージアムネットワーク

イギリスと日本の博物館関連組織を次の項目で比較

加盟主体

機能

独立性

技術研修

情報交換

大会情報

事務局

連絡方法

入会資格

調査研究の連携

ただし情報源は
インターネットのみ

結果：イギリスの博物館関連組織の特徴 1

1) 入会は誰にでも開かれていることが多い

2) 分野ごとの多様な組織の存在 歴史分野では→

歴史の宣伝支援組織： Historical Association

歴史研究の支援機関： Institute of Historical Research

学会： British Association for Local History

学芸員の協議会： Social History Curators Group

3) 組織改組がある

関係 5 団体の合併 > Institute of Conservation : 2005

Campaign for Museums > 解散 : 2008

Civic Trust > Civic Voice : 2009

Museum Documentation Association > Collectons Trust : 2008

Society of Archivists > Archives & Records Association : 2011

結果：イギリスの博物館関連組織の特徴 2

4) 専門職員の協会がある

文書専門員： Society of Archivists (現ARA)

社会史学芸員： Social History Curators Group (SHCG)

5) 館や専門職、資料の代表・代弁者 うたい文句では

アーカイブの代表： The ARA is the lead body

歴史の代弁者： The Historical Association is the Voice for History

文化財保護の代表： Icon is the lead voice for the conservation of cultural heritage

6) curator の独立した専門家としての位置付け

文化財の保護は保全専門家だけでなく、科学者、技術者、職人、
学芸員、教育者、助言者、ボランティアなどが必要です。

Its conservation demands the skills not only of professional conservators but also of scientists, engineers, technicians, **curators**, educators, advisors, volunteers and many others. (Icon)

結果：イギリスと日本の比較

1) 入会は誰にでも開かれている

→日本は理事会での承認を求める場合がしばしば

2) 分野ごとの多様な組織の存在

→日本は学会が分立するが、機能は多様化していない

3) 組織改組がある

→日本はいちど成立するとそのまま

4) 専門職員の協会がある

→日本は館種別協会はあるが、職員別の組織はない

5) 館や専門職などの代表 representative という性格

→その性格があるのは少数（動水協や全地史協）

6) curator の独立した専門家としての位置付け

→日本では自身や専門家の認識も職名ではないか

考察：博物館関連組織団体の比定

Archives and Records Association	全史料協
Association of Independent Museums	なし
British Association for Local History	地方史研究協議会
British Association of Friends of Museums	なし
BTCV	なし：部分的あり
European Museum Forum	なし：これから？
Historical Association	日本歴史学協会？
Institute of Historical Research	おおっぴらにはなし
Museum Association	日本博物館協会
National Council for Voluntary Organisations	なし
Natural Science Collections Association	なし
Social History Curators Group	なし
University Museums Group	大学博物館等協議会

イギリスにあって日本にない組織

- ・ 友の会の協会 British Association of Friends of Museums
- ・ 小規模博物館の支援組織 Association of Independent Museums
- ・ 手作業技術の継承組織 British Trust for Conservation Volunteers
- ・ ボランティアの活動場所の全国組織 National Trust
- ・ 資料を宣伝する活動 Natural Science Collections Association
- ・ 専門職の意見代弁・代表行動 Social History Curators Group

イギリスの組織にあって日本にない／まれな発想

- ・ 構成員の代表として、世の中に立場を訴えること
- ・ 親睦の枠を越え、政治過程に課題を反映させること
- ・ 国内基準 national standard の自主策定（動水協にあり）



イギリスには手作業技術を継承する全国組織BTCVが存在する



日本に相当組織は一見ない、が、
省庁の外郭団体にその能力がある



安全の手引き

本書で紹介する森の手入れや森のあそびを実行する場合の一般的な注意事項を紹介し、自然の中で、楽しむために必要な基本的な安全確保に留意しておきたいものです。特に、丸太など重いものを持ち上げたりする作業のときに、背中や腰を痛めないための注意が必要です。



安全姿勢、安全動作

- 重いものを持ち上げたり動かしたりする場合は、一人でやろうと無理せずに、共同作業を心がける。
- 丸太などは、持ち上げるよりも、地面を転がしたり、引いたりするなどの工夫で、楽な方法をとる。
- 重いものを持ち上げるときは、背中を曲げた姿勢で持ち上げないこと。必ずひざを曲げて、背中を伸ばした姿勢で、足の指内を使って持ち上げるようにする。この姿勢をとれば、背中や腰を痛めることがない。
- 体から離れた位置で、手を伸ばした姿勢ではものを持ち上げないようにする。必ず、体に近づけた位置で、背中を伸ばし、ひざを曲げ、足の指内を持ち上げるようにする。
- 重いものを持つとき、足を固めた姿勢をとるとバランスを崩しやすい。足を前後させるなどして、バランスに注意する。
- 重いものを持ち運ぶ場合、腕は伸ばした姿勢をとるとよい。上腕部や胸への負担が軽くなるからである。また、荷で運ぶものを支えるのではなく、手のひら全体で支えるようにする。

石を持ち上げる時



Activity-12 人工林・雑木林の手入れ



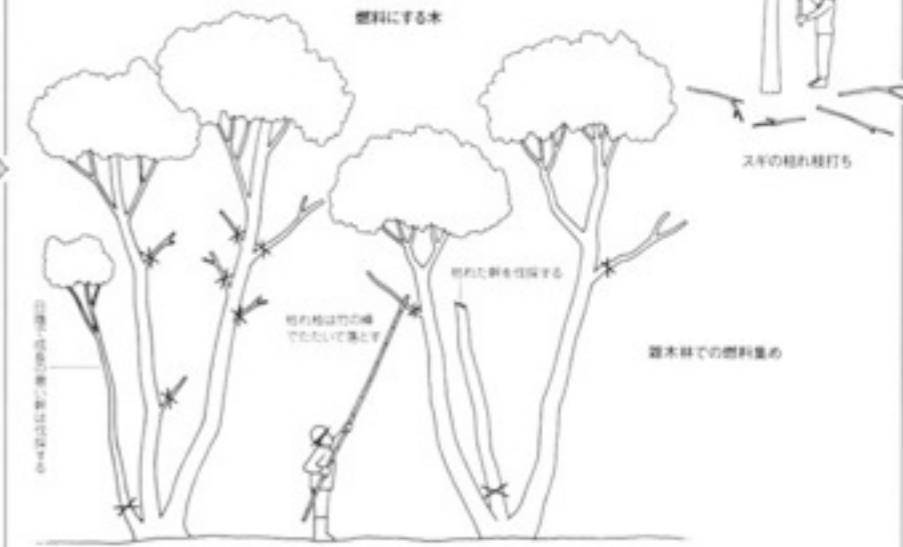
場所	人工林、雑木林
時期	秋から冬
道具	ノコ、チェーンソーなど

森を手入れして、燃料(薪)を集める

森のエネルギーを使う

枝打ちや間伐など、森を手入れすると、薪、枝や葉がたくわんできます。これを森の外へ運び出し、薪として燃料に使います。森のエネルギー資源の利用です。

手入れしたあとの森は、のびのびと育っていくことでしょう。これを繰り返し、何度でも森のエネルギー資源をつくることができます。光合成の方で再生できるのが森のエネルギーです。集めた燃料で薪を作り、みんなでたき火を囲むのは本当に楽しいものです。



結論

これからの日本に必要な組織は

- ・ 独立した支援組織 ネットワークでは疲弊する
- ・ 専門職の代表組織 現場の代表者が見えるように
- ・ 各種各層の全国組織 どこでもボランティア

望ましい組織の役割・機能は

- ・ 自主基準の策定 分権化を進んで受入れる
- ・ 世の中への課題提起 設置者はわかってくれない
- ・ 開かれた外郭団体 日本的資源を有効利用

・日本学術会議の自然史博物館／資料に関する発言

- 自然史系博物館における 標本の収集・継承体制の高度化
(報告) 2005.8.29
- 博物館が危ない!美術館が危ない! (公開講演会) 2006.11.4
- 指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴—
博物館の危機をのりこえるために (声明) 2007.5.24
- 文化の核となる自然系博物館の確立を目指して 2008.1.21
(対外報告)

・日本学術審議会の提言

ユニバーシティ・ミュージアムの設置について 1996.1.18

・日本生態学会の自由集会

ユニバーシティ・ミュージアムの設置について 1996.1.18

→陸前高田市立博物館の標本救助を実現

第10回自然史系博物館館長懇談会 2009.12.6

科博の主催事業

- | | | |
|---------------------|----|--------|
| ・ 国立科学博物館 | 館長 | 佐々木 正峰 |
| ・ 群馬県立自然史博物館 | 館長 | 長谷川 善和 |
| ・ ミュージアムパーク茨城県自然博物館 | 館長 | 菅谷 博 |
| ・ 千葉県立中央博物館 | 館長 | 佐久間 豊 |
| ・ 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 館長 | 斎藤 靖二 |
| ・ 滋賀県立琵琶湖博物館 | 館長 | 川那部 浩哉 |
| ・ 大阪市立自然史博物館 | 館長 | 山西 良平 |
| ・ 兵庫県立人と自然の博物館 | 館長 | 岩槻 邦男 |
| ・ 北九州市立いのちのたび博物館 | 館長 | 小野 勇一 |

類似事業に

- ・ 産業技術系博物館ラウンドテーブルディスカッション